

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/03/21

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.34	0.12
JPY/THB	0.2798	-0.0004
USD/JPY	119.17	0.57
EUR/THB	36.83	-0.02
EUR/USD	1.1051	-0.0040
USD/CNH	6.367	0.004
SGD/THB	24.60	0.05
AUD/THB	24.71	0.20
USD/INR	75.81	0.00
USD Index	98.23	0.26

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.411	0.004
10Y (THB)	2.310	0.012
5Y (USD)	2.143	-0.001
10Y (USD)	2.149	-0.021

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,929.3	-13.9
WTI (Oil)	104.70	1.72
Copper	10,331.0	88.0

Stock

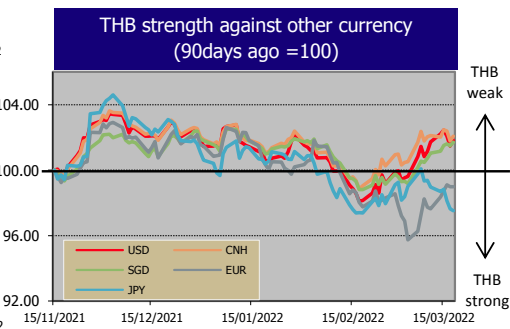
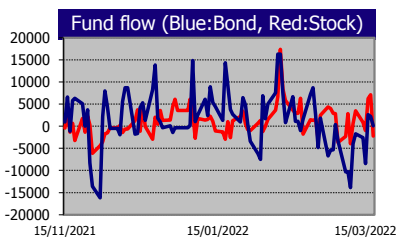
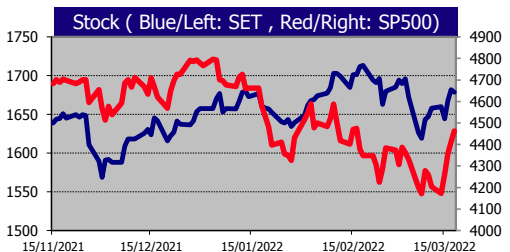
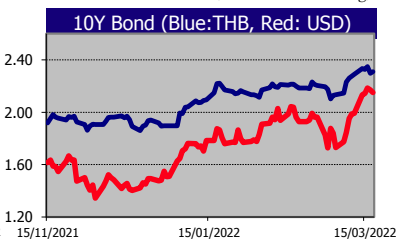
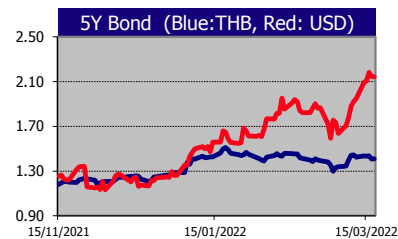
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,678.51	-3.25
NIKKEI (JP)	26,827.43	174.54
DOW (US)	34,754.93	274.17
S&P500 (US)	4,463.12	51.45
SHCOMP (CN)	3,251.07	36.03
DAX(GER)	14,413.09	25.03

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,235)	-9381.2
Bond net flow	94	-2123.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバツ

18日は33バツ前半で取引開始。前日の原油高が嫌気されて朝方はドル買いに動いたが、中国の不動産規制緩和期待から中国株価が上昇、タイ株も週高値圏で値固めの様子を見せる中、為替の上値は抑えられた。海外時間、欧州株が軟調な出だしを見せ、債券高の展開にドルバツは再び同日高値まで上昇。その後は欧州株の下げ幅縮小や米株の上昇により、ドルバツは33.34まで戻して終えた。

●ドル円その他

18日のドル円は118円半ばで取引開始。中国では住宅購入活性化に向けて規制緩和に当局が動くとの見方から不動産株中心に株価が上昇。また、黒田日銀総裁が会合後の会見で円安を容認する発言を行い、一時119円近辺まで円安が進んだ。海外時間、米当局者より50bp利上げを支持するコメントが出て米金利が上昇する動きにドル円は119.30台へと上昇したが、週末を前に上値追いはならず、119.17レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週の米FOMCでは年内残り6回もの利上げパスが示され、タカ派の内容となりましたが、中国当局が株価の安定化策を講じると発表したほか、同国不動産セクターへの配慮から住宅取得規制を緩和するとの見方が強まりました。これらの発表や見方は多くのアジアの株式市場にとって中国金融・不動産市場の安定化期待と捉えられ、タカ派なFOMCによる売り圧力を和らげることが出来たと思っています。そのおかげで、アジア通貨はタカ派なFOMCを通過しても対ドルでそれほど下げなかったのではないのでしょうか。ドルバツは今月に入って以降、33バツ半ばまで上昇したものの、一時的なバツ売りとはなっていません。昨年の10月以降、日足で見ると33バツ後半や半ばでは何度か上値を押さえられており、抵抗線となっているように見えます。もし、今週ウクライナとロシアが停戦にこぎつけられるような事態となれば、先週末の当局者発言もあって米利上げを意識したドル回帰が入りやすい状況ですが、ドルバツが大きく下げるという展開も想定できると考えます。(鈴木)